

令和3年度

第1回 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会

議 案 書

1. 日 時 令和3年8月23日(月) 午前10時00分から

2. 場 所 赤穂市役所6階大会議室

令和3年度

第1回 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 委員・顧問の紹介

4. 審議事項

第1号議案 令和2年度活動報告について

第2号議案 令和2年度収支決算について

第3号議案 令和3年度事業計画(案)について

第4号議案 令和3年度収支予算(案)について

5. 協議事項

協議第1号 国道250号・高取峠トンネルの事業化及び
県道竜泉那波線の整備促進に係る要望について

6. その他

7. 副会長あいさつ

8. 閉会

第 1 号議案

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会活動報告について

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会活動を次のとおり実施したので、その承認を求める。

令和3年8月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 牟禮正稔

記

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会活動報告

実施時期	実施内容
令和3年1月19日	第1回 協議会 審議事項 ・令和元年度活動報告について ・令和元年度収支決算について ・令和2年度事業計画(案)について ・令和2年度収支予算(案)について 協議事項 ・国道250号・高取峠トンネルの事業化及び県道竜泉那波線の整備促進に係る要望について
令和3年2月2日	要望会 要望内容 ・国道250号・高取峠トンネルの事業化及び交通事故防止対策の推進について (西播磨地域社会基盤整備プログラムへの位置付け) ・県道竜泉那波線の早期事業完了について 要望先 ・西播磨県民局 回答 ・国道250号・高取峠トンネルの事業化及び交通事故防止対策の推進について 周辺環境の変化や地域づくりの進展状況等を見極めて事業化する箇所に位置付けており、現在は中長期的な課題である。ピンポイント事故対策は、今後、県、市で検討し、事業化に向けて調整したい。また、法面防災工事も着実に進める。 ・県道竜泉那波線の早期事業完了について 用地買収が完了し、山陽道南、工和橋の両側から工事を行っている。早期完了に向けて進めていきたい。

第2号議案

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支決算について

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支決算について、下記のとおり承認を求める。

令和3年8月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 牟禮正稔

記

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支決算

収入決算額	227,909円
支出決算額	9,713円
差引	218,196円（次年度へ繰越）

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較	備考
負担金	0	0	0	
雑入	1	2	1	預金利息
繰越金	227,907	227,907	0	
合計	227,908	227,909	1	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較	備考
事業費	207,908	0	△ 207,908	
会議費	10,000	0	△ 10,000	
事務費	10,000	9,713	△ 287	事務用品
合計	227,908	9,713	△ 218,195	

監 査 報 告

令和2年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の収支決算について、帳簿書類等を照合精査したところ、収支とも適正に処理されていることを認めます。

令和3年5月18日

監事 相生市建設農林部長 齊 藤 誠



監事 赤穂市建設部長 小 川 尚 生



第3号議案

令和3年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会事業計画(案)について

令和3年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の事業計画は、下記に定めるところによる。

令和3年8月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 牟禮正稔

記

令和3年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会事業計画(案)

実施時期	実施内容
令和3年8月23日	第1回協議会 ・令和2年度活動報告について ・令和2年度収支決算について ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度収支予算(案)について ・国道250号・高取峠トンネルの事業化及び県道 竜泉那波線の整備促進に係る要望について
令和3年12月頃	要望活動

第4号議案

令和3年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支予算(案)について

令和3年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の収支予算は、下記に定めるところによる。

令和3年8月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 牟禮正稔

記

令和3年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支予算(案)

収入予算額 218,197円
支出予算額 218,197円

収入の部

(単位：円)

科目	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	比較	備考
負担金	0	0	0	
雑入	1	1	0	預金利息
繰越金	218,196	227,907	△9,711	
合計	218,197	227,908	△9,711	

支出の部

(単位：円)

科目	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	比較	備考
事業費	198,197	207,908	△9,711	
会議費	10,000	10,000	0	会議賄
事務費	10,000	10,000	0	通信運搬費等
合計	218,197	227,908	△9,711	

協議第 1 号

国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び 県道竜泉那波線の整備促進に係る要望について

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の設置目的である国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び県道竜泉那波線の整備促進を図るため、事業主体である兵庫県に対して、下記のとおり要望活動を実施したい。

令和 3 年 8 月 2 3 日

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 牟 禮 正 稔

記

- 1 要 望 先 兵庫県庁及び西播磨県民局
- 2 要 望 日 令和 3 年 1 2 月頃

要 望 書（案）

赤穂市と相生市とを繋ぐ幹線道路である国道 250 号は、臨海部の工業地帯及び市街地を結び、物流・産業を支える産業道路であり、地域住民の生活道路でもある。また、兵庫県地域防災計画では緊急輸送道路に位置付けられ、西播磨地域唯一の災害拠点病院「赤穂市民病院」に連絡する防災上も重要な道路である。

しかしながら、両市境にある高取峠区間は、見通しの悪い急カーブが連続し、過去 5 カ年で 175 件もの交通事故が発生している大変危険な峠道となっている。ひとたび重大事故が発生すれば、長時間にわたり通行止めとなるなど、物流・交流にも支障を来たしている。また、相生方面からは年間約 350 件もの救急搬送があり、高取峠のアクセス向上は、救命救急等医療ネットワーク上、解決されなければならない課題となっている。

高取峠のトンネル化は、これらの問題解決に有効であるとともに、地域への移動時間が短縮される等、利便性の向上が図られ、企業・商業施設の進出、さらには観光客の増加等、経済の活性化につながるものと期待されている。

人口減少社会の中で、播磨圏域の両市が共に手を携えて地方創生を進めるには「経済の活性化」、「地方の魅力向上」、「安全安心なまちづくり」に取り組んでいく必要がある。

このため、国道 250 号・高取峠のトンネル事業化と共に、当面の交通事故防止及び安全対策の推進について格段のご配慮をお願いしたい。

また、相生市を取り巻く広域的な幹線道路は、山陽自動車道をはじめ、国道 2 号や県道姫路上郡線といった東西方向が主であり、南北方向は極めて弱い状態である。

特に中心市街地の道路網は、国道 2 号から赤穂方面へ抜ける南北交通が 1 路線に集中しており、それに伴う交通渋滞や交通事故の増加、騒音・排気ガスなど公害発生等の問題が生じている。

このような状況の中、県道竜泉那波線は国道 2 号と国道 250 号とを結ぶ南北交通軸として重要な路線であり、また、両市からの播磨科学公園都市へのアクセス道路として、平成 14 年末には第 1 期工事区間が供用開始されている。

現在、第 2 期工事が着手されておりますが、引き続き、両市民が待望する播磨科学公園都市へのアクセス道路である竜泉那波線全線の早期完成について、強く要望する。

要望事項

一、国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び交通事故防止対策の推進

(西播磨地域社会基盤整備プログラムへの位置付け)

一、県道竜泉那波線の早期事業完了

令和3年 月 日

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会

会 長 赤穂市長 牟 禮 正 稔

副会長 相生市長 谷 口 芳 紀

要望路線箇所

